

令和2年度 山形県立米沢東高等学校 学校評価

○ 校訓・教育精神

修 誠

「修誠」を校訓として、次の陶冶に努めることをもって教育精神とする。
◇ 美しい品性 ◇ 高い知性 ◇ 篤い至誠

○ 教育目標

- 1 主体的に学び、未来を創造できる人を育てる。
- 2 至誠と責任を重んじ、社会に貢献できる人を育てる。
- 3 美しい品性を備え、真理と文化を愛する人を育てる。
- 4 高い知性と健康な身体をもち、自立できる人を育てる。

○ 目指す学校像

- 1 「修誠」の精神を継承し、人間性を豊かに育む学校
- 2 自立した学習者として、生徒が主体的に学び、高め合う学校
- 3 進学型単位制の特色を生かし、一人一人の夢を達成できる学校
- 4 高い志と広い視野を持ち、地域に貢献する学校

◎特に成果が見られた取組 ○成果が見られた取組 △さらに取り組む必要がある課題

重点目標		具体的方策	達成状況と今後の課題（自己評価 A:達成／B:概ね達成／C:やや不十分／D:不十分）	評価	学校関係者評価
1	学力の三要素のバランスがとれた学力の育成とそれを支えるリーディングスキルの養成	① 授業改善による「主体的・対話的で深い学び」の実現	◎各教科・科目における授業等改善の取組 ◎各教科内での授業の在り方・工夫の共有	B	◎米東での学びの在り方、生徒の学ぶ姿勢は、他に対して誇れるものであり、その良さを中学生等知ってほしい。 ◎家庭学習の時間が「学年＋2時間以上」の目標を超えるなど、コロナ禍の逆境をプラスに転じた面が見られる。 △今後学びの場のすべてを「対面」とすることは難しい。「リモート」での学びには、「対面」にない良さもある。「リモート」での学びを取り入れる必要がある。
		② 授業の工夫と家庭学習の充実による基礎力と活用力の向上	○家庭学習に主体的、計画的に取り組んでいると自覚している生徒の増加 ○定期考査問題の工夫 ○大学入学共通テスト対策		
		③ 知性や人間性を磨くための読書の推進「ビブリオバトルの実践・普及」とリーディングスキル養成のための「読む」ことの重視	○朝学習「読む」の継続 ○知的書評合戦「ビブリオバトル」の取組 ○ONIEの取組 ○図書委員会活動の活発化		
2	自ら判断し行動できる生徒の育成	① 自主的・自律的な生活態度と公共心の養成	◎校訓「修誠」に基づく生徒指導(端正な服装など)と自覚 ◎「チーム米東」体制による生徒指導 ◎活発な委員会活動	A	◎コロナ禍のときを前向きに、ひたむきにすごしたことで、生徒に「生きる力」が育っている。 ◎生徒一人一人をよく把握し、きちんと見ている。生徒理解からすべてが始まる。その点で良い。 ○特別な時間をすごした生徒たちであるからこそ力を持っている。そのことを、生徒たちに自覚させたい。
		② 自他を尊重し、高め合う集団づくり	○迅速で組織的ないじめ防止対策 ○校内生活状況調査の実施 ○対話的な学習活動の実施		
		③ 自治的・創造的な生徒会活動とタイムマネジメントを意識した効率のよい部活動の推進	◎生徒会行事・活動の主体的・創造的な企画・運営 ◎部活動への積極的参加 ◎部活動時間・内容の適正さ		
3	未来を拓く力をつける探究型学習とキャリア教育の推進	① 探究型学習を推進して、思考力・判断力・表現力等と学びに向かう力を着実に育てる	◎校内活動を発展させた外部コンテスト等への参加 △県内大学・短大等との連携	A	◎新聞等の報道で生徒の活躍を知り、たいへんうれしかった。 ○今年度は難しかったが、生徒が実際に活動、活躍している姿を、外部の人に見てほしい。できれば、中学生にも。 △コロナ禍の影響もあり、キャリアパスポートを有効活用できるか、留意する必要がある。
		② 高い志の育成と個性を伸ばすキャリア教育の推進	○計画的なキャリア教育の実施 ○保護者を含めた進路講演会の実施 △生徒自身の主体的な進路探求		
		③ 総合的な探究の時間における、課題探究学習(i-Seeプロジェクト)の充実・発展と主体的な探究活動としてのキャリア教育の実施	◎課題探究学習での地域協力者との連携 ◎課題探究学習の在り方の見直し △理系分野の探究活動での外部との連携		
4	健康で安全な学校生活の向上	① 健康・安全に対する正しい理解と自己管理能力の養成	○防犯や健康に関わる各講話の実施 ○消費者教育の実施 ○新型コロナウイルス感染防止の取組 △自力解決力の向上	B	◎卒業式が無事に行われたこと等を含め、安全・安心にかかわる学校の取組を評価したい。 ○価値の対象が、「もの」→「こと」→「とき」と変化している。現在こうした「とき」をすごしていることが、あとで力となることを期待している。 △生徒の自力解決力を育てるには、生徒が自分を客観視できる必要があり、乗り越えるべきハードルは低くない。
		② 「いのち」の教育の推進と教育相談の充実	◎カウンセラーによる「悩みごと」相談 ○精神衛生指導委員会の組織的対応		
		③ 学習環境の整備と危機管理・防災体制の充実	◎自転車駐輪場に向けた「安全カメラ」の設置 ○事前連絡をしない避難訓練等の実施 △グラウンドの整備		
5	外部との連携及び働き方改革の推進による活力あふれる学校づくり	① 国際交流活動や地域貢献・地域づくり活動、校外活動等への積極参加	◎SDGsの国際的な取組への主体的参加 ○スピーチコンテスト等への積極的参加 ○地域行事・ボランティア活動への積極的参加	B	◎学校のホームページや学年通信等で生徒の活動のようすを知ることができ、保護者として米東の良さを肌で感じている。 ◎生徒の「実際の姿」を見てもらうことが、学校を理解してもらう上でたいへん有効である。良い活動をしているので、見てもらえるとよい。 ○中学校と連携して、「先輩のかっこ良い姿」を見せることができると良い。 △先生方が元気で、前向きに、明るくあることがたいへん大切である。過重な勤務は解消されるべきである。
		② 外部との連携による諸活動の充実・発展	○学校評価活動の着実な実施 ○探究型学習での外部との連携 ○学校の魅力の積極的な発信・PR		
		③ HP等による情報発信・広報活動の充実と米東メール等による保護者への確実な連絡	◎学校ホームページと米東メールの活用 ○本校「部活動方針」の策定と公表		
		④ 修誠会の協力を得て、保護者の理解のもとで、教職員の「働き方改革」を推進する	○「教員の働き改革」を踏まえた修誠会との連携 △勤務時間を大きく超える長時間勤務の解消		

総合評価

◎「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業に向けて、各教科での授業改善が進展した。
◎コロナ禍のもとでも、生徒は、ものごとへの前向きで、ひたむきな取組を止めることがなかった。コロナ禍で「できない」ことも多い中、「できる範囲の中でいま何を行うべきか」考えることで、判断力が育った面もある。学校祭等の行事での、主体的、創造的な取組もあった。自ら判断し行動できる生徒が育っている。
◎「総合的な学習(探究)の時間」における「課題探究学習(i-Seeプロジェクト)」の取組を始めて、8年目。個人研究からグループ研究に転換したことで、学習に深まりと広がりが見られた。合わせて、外部に協力者を得たり、外部のコンテストで活躍したり、活動が外部に開かれたものになってきた。持続、発展させたい。
○部活動指導については、本県及び本校の「方針」に則った活動が行われており、極端に練習時間の多い活動等は行われていない。生徒にとっては、学習と部活動を両立させ、良い生活リズムをつくることができている。
○課題探究学習やボランティア活動等で、地域とのかかわりを深めており、地域を持つ教育力を活用しながら、生徒の中には地域への関心、愛情が育っている。
△「第一希望の進路志望」の確立と実現のため、キャリアパスポート等での振り返りを含めた生徒自身による主体的な活動としてのキャリア教育の実施、単位制高校の利点を生かした科目選択、バランスのとれた学力の着実な育成等を、引き続き図る必要がある。また、課題探究学習においては、特に理系分野において外部との連携を得て具体的な成果をあげることができるようにしたい。

【生徒評価】

i-Seeプロジェクトの意義を十分理解し、積極的に取組んでいる。」

